

神戸・明石とともに。

今日も、あしたも、



C O N T E N T S

ごあいさつ

2 経営理念・基本方針

2 地域貢献・金庫の概要

4 地域密着型金融推進計画

8 地域貢献活動・事業サポート

10 トピックス

12 組織体制

14 組織・役員一覧

17 金庫の考え

20 主要な事業のご案内

24 当期の業績

25 財務諸表

27 財務諸表に関する注記

29 報酬体系について

30 主要な業務の状況

32 不良債権などについて(単体)

33 預金に関する指標

34 貸出金に関する指標

37 有価証券に関する指標

38 有価証券の時価情報・その他の指標

39 金銭信託・デリバティブの時価情報

40 その他の指標

41 当金庫グループの主な事業の内容

42 連結財務諸表

44 連結財務諸表に関する注記

46 自己資本の状況(単体)

55 自己資本の状況(連結)

59 沿革・店舗一覧

61 ディスクロージャーの開示項目一覧

神戸信用金庫

本店 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地
電話 (078) 391-8011

ごあいさつ



理事長

西多 弘行

平素は、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も「2021神戸信用金庫の現況」を作成しましたのでご高覧いただき、当金庫への理解を深めていただければ幸いに存じます。

昨年度のが国経済は、新型コロナウイルスの影響が拡大する中、国や地方自治体による各種の自粛要請が発出され、社会経済活動を大幅に制限されたことにより情勢は大きく変わりました。特に春先は輸出の減少、インバウンド需要の消失、国内個人消費の減少により、経済はきわめて厳しい状況となりました。その後、緊急事態宣言の解除や社会経済活動の段階的な引き上げが図られ、大規模な財政出動と緩和的な金融措置が下支えするなか、経済は持ち直しの動きとなりました。しかしながら、年明けからは2度目の緊急事態宣言の発令で再び消費が低迷し、結果的に、2020年度のGDPは前年度比で△4.6%となり、リーマンショックがあった2008年度の△3.6%を超えて、戦後最大の落ち込みとなりました。

このような厳しい環境でございましたが、当金庫は堅実経営を基本とし、自己資本の充実、リスク管理の徹底、収益基盤の強化に努めました結果、税引き後の当期純利益は6億64百万円を計上することができ、自己資本比率につきましては、14.14%となり、国内で営業を行う金融機関に義務付けられている4%の水準を大きく上回っております。

この間、私どもはコロナで影響を受けたお取引先に対しまして、積極的なご融資および資本充実へのご提案、補助金・助成金のご案内、社会保険労務士や行政書士など専門家のご紹介のほか、様々な取り組みを行ってまいりました。ウィズコロナの時代は協同組織である信用金庫の出番であり、「相互扶助」の精神を発揮するまたとない機会でもあります。日々変化し、多様化しているお取引先の経営課題を自分ごととしてとらえ、一緒に立ち向かっていく。こうした行動によりお取引先の経営基盤の充実に貢献していく金庫となることを目指してまいります。

2021年度につきましては、ワクチン接種の効果が大きいに期待されますが、社会・経済活動の正常化までは不透明な要素も多々ございます。このようななか、私たちは小さなところから意識や行動を変革させ、お客さまに寄り添った伴走支援で、“お客さま第一主義”をさらに深化させてまいります。そして、2023年度の90周年に向けさらなる飛躍を目指すため、未来に向けて果敢に挑戦し続けてまいります。

今後ともお取引先の皆さまの一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。ごあいさつといたします。